

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホームうずき
日付	平成18年2月10日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 介護支援専門員歴4年
<a href="#">自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)</a>	
<a href="#">事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)</a>	

外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・住宅地の中にありますが、静かな環境です。周辺には花や木など自然がたくさんあり、四季折々の変化を感じることができます。
・桜の花を見ながら食事をしたり、夕食後にお茶を飲んだり、月と一緒に眺めたりと戸外で自然と一緒に過ごす時間を持つ暮らしを大切にしています。
・全ての居室にトイレがあります。プライバシーに配慮しながら、自立に向けた支援がなされています。入居時には紙パンツを使用していた要介護度の高い入居者も、現在では、排泄はほとんど自立できています。
・法人内での連携が取れており、協力体制があります。
・入居者は、法人の行事にも、積極的に参加されています。併設施設の入居者とグループホームの入居者の顔なじみの関係もできており、お互いに行き来もされています。
・職員は、入居者に明るく接することを心がけており、入居者の表情も穏やかです。また、入居者一人ひとりに合ったサポートを心がけており、入居当時より落ち着かれ、機能的にも回復された入居者もおられます。「この生活はいいよ」、「みんなやさしいよ」という言葉を、複数の入居者から聞くことができました。
・家族との関係づくりに努力されており、家族とも良いコミュニケーションがとれています。
・食材は、隣接の特別養護老人ホームと同じものが届けられますが、調理は、グループホーム内で、入居者も一緒にしています。入居者の好みにあわせて、調理方法を変えたり、嗜好を採り入れる工夫をしています。手作りのおやつ、差し入れの果物、畑でとれた野菜などを採り入れ、食べることに楽しみが持てるように工夫しています。
<b>特に改善の余地があると思われる点</b>
・入居者の個別の状況に関する情報伝達が、主に口頭でされています。職員が少人数なので、すぐに伝わると考えられている面もあるようです。しかし、宿直には併設施設からの応援もあり、「情報の共有」という意味では、伝達の手段について、再検討を要するよう感じました。例えば、特に申し送りが必要な事項に対しては、業務日誌の「特記事項」欄に簡単に記録し、詳細は個人記録で確認するようにははいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<p>・居心地のいい家庭的な雰囲気の中で、楽しく、のんびりとした生活ができるように心がけています。</p> <p>・自然を愛でる暮らしを大切に考え、四季折々の変化を感じられる生活をめざしています。</p> <p>・職員は笑顔を決やさないことを心がけています。入居者に「ここで生活して良かった」と感じてもらいたいと考えながら支援しています。</p>				

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<p>・音やにおいに注意し、五感を働かせて見守りをしています。</p> <p>・入居者の好物や趣味などを把握して、その人に合わせた支援をしています。</p> <p>・開放的で自由な生活ができるように心がけています。</p>				

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<p>・入居者一人ひとりの得意なことを見つけて、力を引き延ばせるように支援しています。</p> <p>・本人の言うことを否定しないように心がけています。何度も同じことを話す入居者には、他の入居者から責められないように配慮しながら、傾聴することを大切にしています。</p> <p>・排泄に関することは、人前で大きな声で話さず、耳元で声かけをし、入居者が、気まずい思いをしないような支援を心がけています。</p>				

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<p>・研修会への参加、資格取得へのチャレンジなど、サービスの質の向上を目指し、前向きに取り組んでいます。</p> <p>・事故報告書、ヒヤリハット報告書があります。問題発生時には、その都度、原因や今後の対策について話し合い、再発防止、事故発生防止に向けて取り組んでいます。</p>				